

「神川小学校の銭太鼓伝承活動の取組」

1 学校名

錦江町立神川小学校

2 学年・人数

小学5～6年生（計11名）

3 日時・場所

（1）練習の日時・場所

10月～11月の総合学習時間（計10回）（神川小学校体育館）

（2）発表の日時・場所

11月10日（土）

上川小学校学習発表会（本校体育館）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

（1）名称

銭太鼓（ぜにだいこ）

（2）由来

約200年前から鳥浜の諏訪神社秋祭りにて，翌年の豊作を祈願するために踊り続けられてきたと言われている。

（3）構成等

踊りは，長さ30cmの竹筒の中に硬貨を入れ，その竹筒2本を持ち，座って踊る。

歌は一定しないが，いろいろな歌に三味線や太鼓に合わせて踊る。

5 保存会や地域との連携の具体

銭太鼓を伝承している錦江町内の文化協会員が，神川小学校の5・6年生に指導及び伝承していく流れができており，学校と連携しながら行っている。最近では，6年生が5年生に指導する形が主流になり，銭太鼓が神川小学校に馴染んでいることが分かる。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

学校と地域，そして，文化協会員との連携がしっかりと取られている。児童に確実に伝承できているため，子ども同士で教え合うという新しい形もできている。文化協会員の方には，見守る形で協力していただいている。

7 取組の様子



【学習発表会での銭太鼓発表】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【児童】

6年生に優しく教えてもらえて楽しかった。(5年)

5年生に詳しく教えないといけないので、責任を感じている。(6年)

【文化協会員】

小学生が興味をもって、楽しみながら文化に触れ合っている様子が見受けられ、伝承されていると感じている。

【教員】

児童が和気あいあいと文化に親しんでいる姿を見ると、頼もしく感じる。